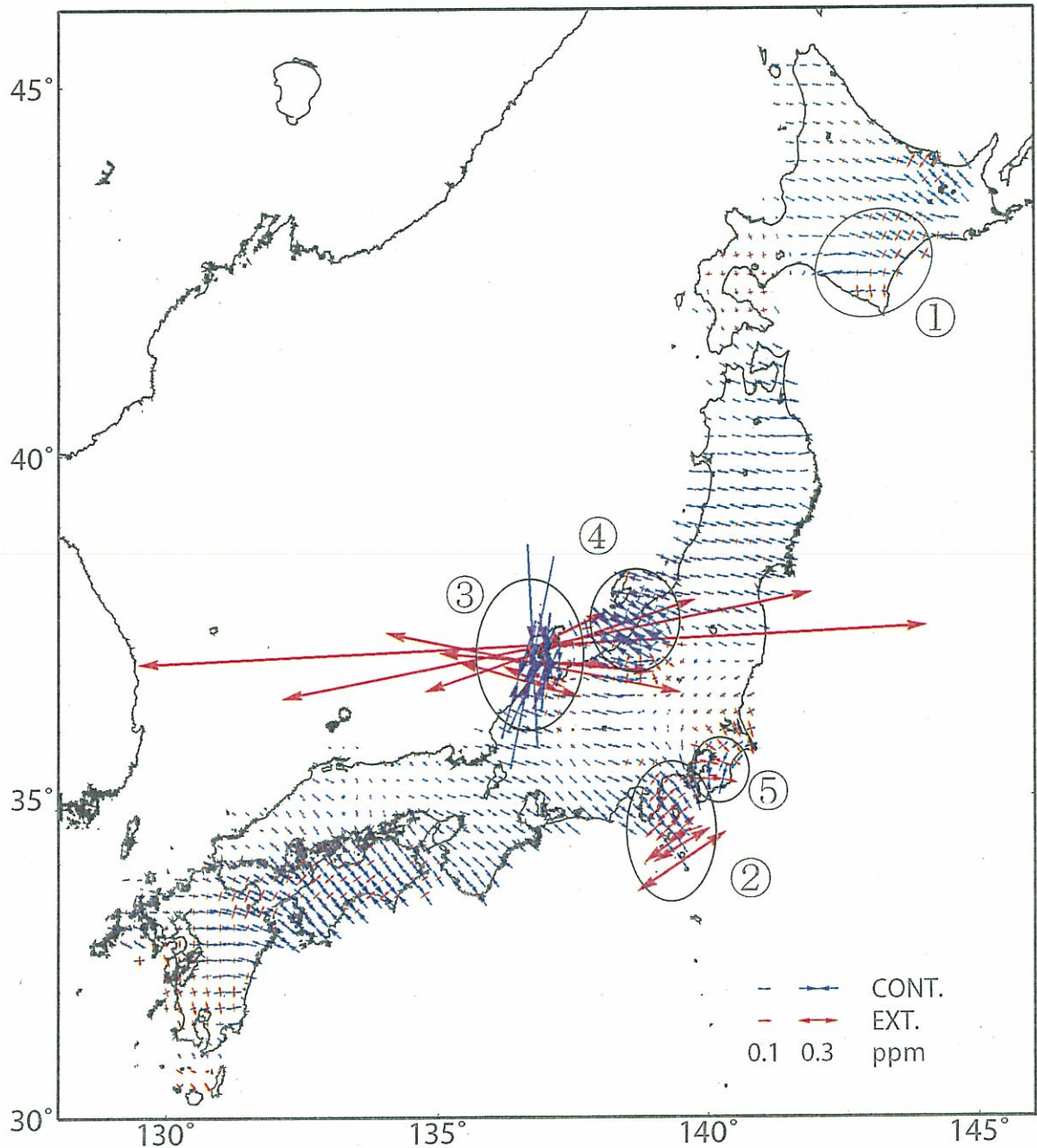


GPS連続観測データから推定した日本列島の歪み変化

基準期間：2006/10/13～2006/10/27

比較期間：2007/10/13～2007/10/27



GPS座標値データに基づいて1年間の歪み変化図を作成した。座標値の15日分の平均値から1年間の変位ベクトルを算出し、それに基づいて歪みを計算している。上図期間においては、以下のような特徴が見られる。

- ①：2003年9月26日に発生した十勝沖地震に関連する余効的な地殻変動の影響による歪みが見られる。
- ②：伊豆諸島周辺の地殻活動に伴う北東-南西方向の伸びが依然として顕著である。
- ③：2007年3月25日に発生した能登半島地震による地殻変動の影響による歪みが見られる。
- ④：2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震による地殻変動の影響による歪みが見られる。
- ⑤：2007年8月13～22日頃に発生した房総半島沖スロースリップによる地殻変動の影響による歪みが見られる。